

# しず老施協

## 巻頭言



## 会長としての二期目の抱負 ～ひとりみんなのために、みんなはひとりのために～

静岡県老人福祉施設協議会会長 種岡 養一

この春、会員の皆様に二期目の会長としてご承認を頂きました。石川前会長からバトンを預かり、あっという間に二年が過ぎてしまった感覚です。就任と同時に新型コロナウイルス感染症の猛威に晒され、思うような会務運営が出来ませんでした。各委員会はリモートでの会議を余儀なくされ、本会自慢の高齢者福祉研究大会も二度に渡り中止となるなど、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。そのような中でも、皆様には新型コロナウイルス感染症対策として、感染症発生施設への応援職員派遣事業には、会員皆様の多大なご協力を頂いたことは大変ありがたく思いました。まだまだ終息を見た訳ではありませんので、引き続き感染症対策には万全を期して頂くようお願いいたします。

さて、二期目としては、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、この静岡県老人福祉施設協議会という組織をどのように活発化させ、強化していくかを考えて参りたいと思います。委員会活動は本会の肝であることから、コロナ対策への配慮はしつつ、従来にも増して、各委員会が元気に活動してもらえるよう支えて参ります。

また、本会組織の在り方についても再考したいと思っています。私の好きな言葉のひとつに「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」という言葉

があります。この言葉のような組織になったら素晴らしいと思っています。会員同士は皆、仲間であるという意識、感覚をより醸成したいと思います。今はまだ顔を合わせる機会をつくるのが難しい状況ではありますが、必ずやって来るであろう災害有事に於いても、より親密な関係性の構築は大切ではないかと思えます。

他方、本会活動が会員の皆様の付託に応えられているだろうか、会費に見合ったメリットを感じて頂けているだろうか、と思うことがあります。本会の会務運営は執行部や事務局だけではなく、会員皆様と一緒に創るものと思っています。これからも、皆様の声をお寄せ頂きたいと思えます。特に委員会活動の充実という点において「BCPの作成と運用」「科学的介護の具体的活用方法」「ICT活用等による介護人材不足解消やサービスの質の向上」など、会員の皆様の課題に寄り添い、皆様の課題解決につながる委員会運営にしたいと思えます。皆様の声を基に、会員の皆様と共に、本会を創り上げていくことが出来れば、私の考える専門性のある仲間の集まりとなれると信じています。静岡県の高齢者介護事業の向上に資する為にも、オール静岡として、会員の皆様と一緒に、本会を育てて参りましょう。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 特集1

「介護の日」ポスター作製  
今年もやります!!

21世紀委員会委員長

若林 久美子

「介護の日」街頭キャンペーンができなくなり、「介護の日」の啓発活動として、令和2年度3年度はポスターを作製し配布しました。静岡県老施協会員施設の皆様と21世紀委員の皆さんのご協力により、とても素敵な、介護の魅力をたくさんの人に伝えられるようなポスターができました。新型コロナウイルスのお陰で良いことが生まれる事もあるんだな、と嬉しくなりました。今年もポスターの為に写真募集が始まりました！写真を送って頂く際のヒント、ポイントとして、こんな写真をぜひ宜しくお願いします！

～こんな写真がいいね～

- ・職員と一緒に写っている写真
- ・その瞬間が輝いているのが伝わるような写真

- ・コロナに負けない笑顔、笑顔あふれる場所であることが伝わる写真
- ・コロナでも楽しくやっています！という事が伝わる写真（イベントや行事も）
- ・介護は人として大きく成長できる仕事です、という事が伝わる写真
- ・先輩職員が若手職員を優しく指導している、一人じゃないよ！という写真
- ・介護のやりがいを感じる瞬間の写真
- ・とびっきりの笑顔の写真 などなど・・・

今年も21世紀委員会が精一杯素敵なポスターを作ります！皆様、写真の応募どうぞ宜しくお願い致します！

## ガアフォト募集!



介護の職場をPRしよう!



11月11日の介護の日に当たり、今年もPRポスターを作製したいと思います。

つきましては、会員施設様より1枚ずつ写真の提供をお願いします。（1施設につき1枚）

また、写真には表題をつけてください。

ポスターに採用されなくても、全ての写真で施設名入りの動画スライドを作成し、ポスターのQRコードから見られるようにしたいと考えています。

より多くの施設に賛同していただきたいので、ご協力をお願いします。

応募方法：メールにて添付して下さい。

（重いようなら圧縮して下さい）

必ず写真の表題・法人名・施設名  
担当者名を記載してください。

アドレス：21c.shizu@gmail.com

締め切り：令和4年8月6日（土）

※画像につきましてはポスター等への使用承諾確認を予め行ってください。

問い合わせ先

静岡県老人福祉施設協議会 21世紀委員会

委員長(東部) 若林 久美子 平成の杜 0550-76-8008

副委員長(中部) 澤田 彰宏(担当) 吉津園 054-278-5566

副委員長(西部) 宇井 義隆 西島寮 053-425-2000



令和2年度作製ポスター



令和3年度作製ポスター

特集2

# 地域共生社会の実現に向けた 地域包括ケアシステムの推進



静岡県健康福祉部  
福祉長寿政策課長

加藤 克寿

地域包括ケアシステム構築の目標となる2025年まで3年を切りました。私が地域包括ケアシステムを初めて耳にしたのは平成25年でした。当時、地域包括ケアシステムの説明にあたり、大粒の汗で言葉を詰まらせたことを鮮明に記憶しています。

そして、現在では、関係団体、県民の皆様の御理解のもと、県内各地で多職種連携による課題解決、住民主体による生活支援など、様々な形で地域包括ケアを実践する取組が展開されていることに、改めて敬意を表すところです。

さて、地域では、人口減少・少子高齢化という根本的な課題に加え、社会的孤立、8050問題など複合化、複雑化した課題、さらには災害時の対応など、支援ニーズが多様化しており、これを地域で受け止めることが、今後一層求められてまいります。

地域共生社会は、このような社会情勢を踏まえ、制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関

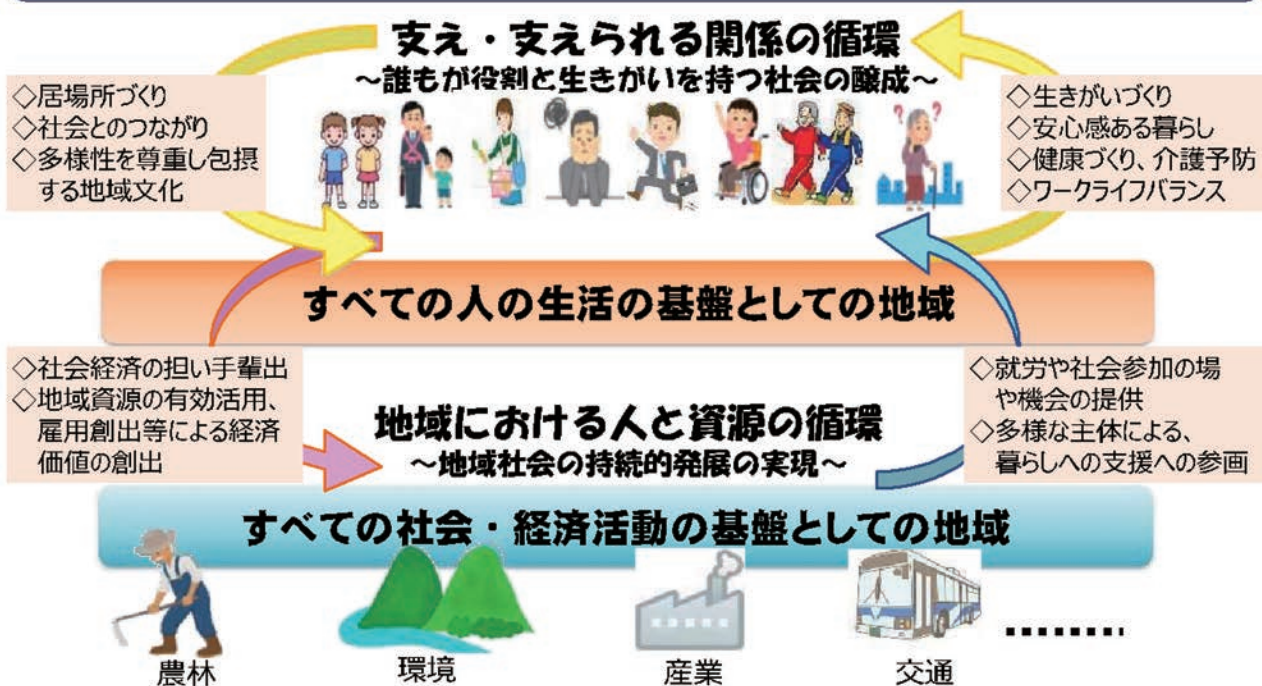
係を超えて、人と人、社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域を創っていくという考え方です。そして、地域包括ケアシステムの実践は、他分野との協働にも活用できる汎用性の高いもので、地域共生社会の実現に向けては欠かせないものであると考えます。

県では、今年度、福祉長寿政策課を新設しました。地域包括ケアシステムの構築により強化してきた高齢者福祉を中心に、総合的に福祉施策を推進していくというものです。

高齢者人口がピークを迎える2040年。支援ニーズの増大と多様化の中で、地域が一体となって必要な支援を提供する体制を確保できるか、地域の力が試されます。私どもも地域共生社会の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、貴会におかれましても、引き続き御理解と御協力の程よろしくお願いいたします。

## 地域共生社会の実現

◆制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、**住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会**



出典：厚生労働省

## 「スケッター活用実証実験」について



社会福祉法人西伊豆町社会福祉協議会  
地域福祉主任/生活支援コーディネーター

藪田 栄和

社会福祉法人西伊豆町社会福祉協議会では、IT企業と連携して、町内の介護保険施設と有償ボランティアをつなぐ「スケッター活用実証実験」を4月末からスタートさせました。「スケッター (Sketter)」とは、福祉に特化したスキルシェアサービスで、福祉関連事業者がサイトに希望する仕事・活動内容（清掃・配膳、レクリエーション等）や日時・報酬を投稿して、個人ボランティア登録されているユーザー（スケッター）が応じれば、マッチングが成立するものとなります。

この事業を実施する背景は、人口約7200人で高齢化率が51.8%の西伊豆町で、高齢者を支える生産年齢層の減少により、介護従事者の確保が困難になってきている状況が続いていることです。

町では、“むやみに介護状態にならない・ならせない”を目標に、様々な研修や講演会を実施し、住民自体も健康維持増進の意識が高まり、介護予防・運動教室、地域サロン等も充実してきていますが、専門職となる介護人材不足で、町内外からの関係人口を増やすことが急務となっています。

この実証実験では、介護職が専門的なサービスに専念できるよう、介護職ではなくてもできる仕事を、有償ボランティアが行うことで、介護施設等の人材確保や現場の負担軽減が期待されています。

また、将来介護・福祉分野に勤めたいと思っている大学生や専門学生に参加してもらうことで、将来の就職の選択肢に入れてもらうことも考えています。



高齢者施設利用者の園芸作業を補助するスケッター（一番右）

西伊豆町は富士箱根伊豆国立公園及び名勝伊豆西南海岸に指定されており、夕陽やマリンスポーツをはじめとした観光スポットもたくさんあるため、観光×ボランティアとしてPRもしています。

さらに実証実験期間中にスケッター活動を行ってくださった方には、西伊豆町からボランティアポイントとして地域通貨の「サンセットコイン」を1000円分付与もしています。この地域通貨は町内の飲食店や宿泊施設等で利用できるので、スケッター活用後の観光にもぜひご利用いただき、西伊豆町の魅力を知ってもらって、移住者や介護福祉人材・関係人口の増加につなげていきたいと思っています。

Sketter

つなぐ、つながる、  
スケッター

無資格でも、未経験でも、すきま時間だけでも。  
明日から、あなたもだれかの“助っ人”に。

地域  
指定なし

日付(複数可)

検索する

希望のお手伝い内容から探す

スケッター登録画面

# 職員紹介

各施設の職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手  
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか  
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

## 高原荘

(富士宮市)

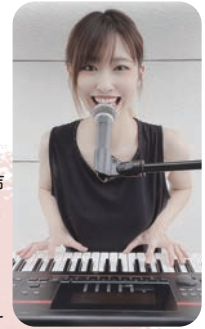
- ① 福田葉月（介護職員）
- ② 欲しかった車輛を購入できた事。
- ③ 坂口健太郎・高橋一生
- ④ 大好きな実家のリフォーム資金と、両親に新車をプレゼントしたい。
- ⑤ コロナ前の様に、外出支援・イベント等を盛大に開催したい。
- ⑥ 5年前の施設実習での印象が良く、指導して下さった職員の方々が優しく、支援方針に憧れて入職しました。



## ケアハウス慈恩

(富士市)

- ① 相原由貴（介護職員）
- ② 音楽レクの時に入居様が元気な声と一緒に歌ってくれたこと。
- ③ 石原さとみ
- ④ 親孝行する、家を建てる。
- ⑤ 職員同士の信頼関係がうまく築けて、入居者様へのサービス提供がスムーズにできるようになりたい。
- ⑥ 介護の仕事をする時に幾つか施設見学したんですが、岳陽会が1番職員が明るくて、和気あいあいと仕事をしているように見えたのでここを選びました。



## かなや

(島田市)

- ① 園田夏希（介護職員）
- ② 先輩から出世祝いで腕時計をもらったこと。
- ③ 牛沢（実況者）
- ④ 貯金と全国に行って美味しいものを食べたい。
- ⑤ 利用者様が楽しく過ごせる施設にしたい。
- ⑥ 実習生で来た時から雰囲気が良いと感じたから。



## 小鹿なでしこ苑

(静岡市駿河区)

- ① 増田 信（施設長）
- ② 安くて新鮮な魚を扱うスーパーを見つけたこと
- ③ 高田純次さん  
他者のことを悪く言うことがなく、褒め上手だから
- ④ 住宅ローンなど一括返済して残りは貯金
- ⑤ 全員が信頼関係で結ばれている施設
- ⑥ 約30年前にたまたま飛び込んだ特養が済生会の特養だったでも、済生会で本当に良かったと思っています



## 秋葉の苑

(浜松市天竜区)

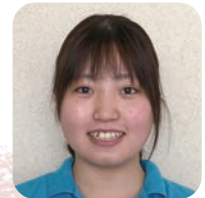
- ① 高村浩司（生活相談員・介護支援専門員）
- ② 子供が所属する高校サッカー部が県大会でベスト16まで進んだこと
- ③ アニメ映画『君の名は。』の新海誠監督
- ④ 家族で旅行・食事・買い物、そのあと貯金
- ⑤ 楽しく穏やかな日々を送り、最後までその人らしく過ごせる施設
- ⑥ 豊かな自然環境のもと、清潔で、和やかな雰囲気がある



## くにやす苑

(掛川市)

- ① K.S（介護職員）
- ② 焼き菓子を手で作れたことです。
- ③ 柔道の阿部詩選手が好きです。
- ④ 動物保護団体に寄付します。
- ⑤ 利用者様が笑顔で過ごされる施設を維持していきたいです。
- ⑥ 地元で働きたいと思ったからです。



どうぞよろしくお願いいたします

## 支部紹介

# 前、現東部支部長の座談会（進行役：岳陽会理事長） ～東部支部のあり様と特徴的な取り組みについて～

今回は前東部支部長の信愛会奥津理事長と、現支部長の美芳会大塚理事長の対談を、岳陽会渡邊理事長の進行で、東部支部のあり様と特徴的な取り組みについてお話をしていただきたいとお願いしました。



（奥津 [敬称略]）私の県東部との関りの初めは、日本民生文化協会に入職後、昭和40年代に静岡県に社会福祉法人の開設申請し、昭和47年函南町に軽費老人ホーム「富士見ヶ丘いこいの園」を開設したときからです（社会福祉法人日本民生福祉協会）。又、県から特養の開設の要望もあり、特養「みどりが丘ホーム」の開設にも携わりました。昭和50年7月開設ですが、当時は特養建設が急速に始まった時期でした。

（渡邊）富士楽寿園【昭和50年6月開園】とどちらが先でしょうかね。

（奥津）御殿場十字の園も古いね。【昭和46年】

（大塚）日本で一番古い特養は浜松十字の園【昭和39年】だけど、東部ではしらいと【昭和41年】が一番じゃないかな。当時は公立の養護老人ホーム（養老施設）が断然多かった。なお、民間の養護老人ホームの初め

は長岡寮湯の家【昭和22年】で、富士市の現美蓉会の前身の富士育児養老院からお年寄りが入居されたことから始まったと聞いています。

（渡邊）ところで東部支部は比較的まとまりがあると思いますが何故ですかね。

（奥津）湯の家2代目の施設長で、元県東部民生事務所長を勤めた故服部一氏が、老施協東部支部長だった頃、お酒が好きだったこともあり、東部支部の施設長が集まっての懇親会をよく開いて、仲が良い関係があった。

（渡邊）民社連の影響もありますかね。【民社連：（民間社会福祉施設連合会）児童、障害者、高齢者の社会福祉施設の集まり。始まりは富士市の誠信会の創始者長谷川明德先生達が尽力された。】

（大塚）今の経営協は、発足当時民社連のメンバーが多く引き継がれたという経緯もある。

（渡邊）民社連の影響は富士圏域施設長会にも残っていますね。【富士市・富士宮市の児童・障害・高齢者の施設長会】



前東部支部長 信愛会 奥津理事長

(奥津) コロナ禍で頓挫しているが、東部支部の総会・研修会は泊りで懇親会を行い、交流や意見交換の場としてずっと続けてきた。その繋がりによって、「平成の杜」が被災した際に、多くの施設の協力が迅速に得られた一つの要因になったと思う。



現東部支部長 美芳会 大塚理事長

(渡邊) コロナの協力体制、防災協定も組織だけでなくお互いが顔見知りの関係であることが大切と感じました。

(大塚) 顔が見える関係として、東部地区は年度初めに福祉四部会（児童・保育・障害・高齢者）が各東部支部総会を同じ日に合わせ、東部経営協が合同研修を行い、その後懇親会をするのも特徴的な事かと思えます。

(奥津) 形だけでなく、自然発生的な繋がりの方が機能すると思うことが多々あるよね。

(大塚) ネットワークを定義するのに、私見ですが「ちょっと無理が言える個人的な関係」という言葉を使っています。

(奥津) 顔が見えると何とかしなきゃという思いになり、世話になっているので、報いようとする気持ちになるよね。

(大塚) 介護保険が始まって制度が目指している所と福祉が目指している所とそりがあまり合わないなあと

感じる事が結構ある。

(奥津) 大塚先生のいうちょっと無理の言える個人的な関係というのは、日頃の関わり合いの中で生まれる。

(大塚) 老施協等の組織は、「ちょっと無理の言える個人的な関係」のネットワークを醸成する装置、しかけて、それは大事にしていきながらも、活動の中で、自助的な活動をベースにしていく形になればうまくいくと思います。

(奥津) こうあったらいいのに、出来ないでいることを組織として対応していくのが老施協の役割だけど、複雑で難しい課題にあえて対応することで、今までにない価値を産むことになる。

(大塚) 枠組みは大事だけど、福祉って人の行動とか活動をどうやってみていくかという話かなと思う。



進行役 岳陽会 渡邊理事長

(渡邊) 福祉は実践が大事で、人となりとはそういうことで、何をやったかでやらなければ何も起きないですね。

(奥津) 福祉は自分の損得だけでなく、社会の恩恵に対しどうやって報いていくのか考えていかなきゃならない。老施協は色々な新しい動きを敏感にキャッチしながら、次を担っていく世代が開拓精神を持って取り組んでいただきたいと思います。

## 委員会紹介

# 静岡県高齢者福祉研究大会 実行委員会の活動紹介



静岡県高齢者福祉研究大会  
実行委員会委員長

池田達哉

当委員会は平成21年度に初めて開催された「静岡県高齢者福祉研究大会」の企画運営組織として設立されました。小さな規模で始まった研究大会もこれまでに10回の開催を数え、現在では東・中・西部それぞれの大型会場にて、発表題数72題、参加者は1,000名にのぼる一大イベントに成長しました。

ケアに関する発表内容も、回を重ねるごとにより高度な取り組みに変わり、また地域連携や人材確保、災害対策、ICT活用、そしてコロナ禍での取組みなど、時代の変化と共に多様化してきています。

今年度はコロナ禍により中止していた研究大会を、WEB配信という形で4年ぶりに開催します。WEB配信となることで、いつでも、どこでも、何度でも、気軽に視聴できるメリットがあります。10月の配信に向けて準備をしていますので、是非ご視聴ください。

皆様の素晴らしい取り組みを、研究大会を通じて施設間で共有し、学び合い、活用することで、静岡県全体の介護サービスの質の向上に繋がっていきます。これからもより実りある大会を目指していきますので、数多くの方のご参加をよろしくお願い致します。

静岡県老人福祉施設協議会

# 第11回静岡県 WEB配信 高齢者福祉研究大会

未来へつなぐ ふじのくにの介護力  
～変わりゆく時代のなかで 私たちにできること～

令和4年10月  
WEB配信開始

発表募集期間  
R4.4/1~5/31



発表テーマ

- ①中重度ケアの実践
- ②暮らしを楽しむ工夫
- ③多職種協働・連携の実践
- ④魅力ある職場づくり
- ⑤在宅サービスの取組
- ⑥社会福祉法人における取組
- ⑦コロナ禍における取組





静岡県老人福祉施設協議会  
マスコット  
ケアットちゃん

主催：静岡県老人福祉施設協議会  
 電話 054-653-2311 FAX 054-653-2312  
<http://www.shizu-roshikyo.jp/>  
 E-mail: sizuosi@vesta.ocn.ne.jp

後援：静岡県 静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉士会  
 静岡県介護福祉士会 静岡県介護支援専門員協会  
 静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会

### ○ 開催概要

大会キャッチフレーズ	未来へつなぐ ふじのくにの介護力 ～変わりゆく時代のなかで 私たちにできること～
オンライン開催	令和4年10月WEB配信開始
内 容	研究発表（テーマ：1 中重度ケアの実践、2 暮らしを楽しむ工夫、3 多職種協働・連携の実践、4 魅力ある職場づくり、5 在宅サービスの取組、6 社会福祉法人における取組、7 コロナ禍における取組）
発表施設	36施設（申込順、令和4年6月末現在） 第二長上苑デイサービスセンター、浜松中央長上苑、グリーンヒルズ東山、あしたかホーム、みはらの丘浮島、白扇閣、西之島の郷、第2デイサービスセンター南風、羽鳥の森、伊豆市土肥地域包括支援センター、丸子の里、掛川市ききょう荘、プレーゲあしたか、小鹿なでしこ苑、竜爪園、きじの里、こもれび、ぬくもりの里、プレーゲおおひと、さつき園、静岡老人ホーム、元吉原デイサービスセンターはまかぜ、浜石の郷、ヒューマンヴィラ伊豆、さくまの里、ディアコニア、ケアハウスあんしんの里、小鹿苑、つばさ、ケアハウス慈恩、いちごの里、住吉杉の子園、あおい荘、すどの杜、平成の杜、するが荘



## 会員施設の紹介

### 養護老人ホーム **するが荘**

#### 【一言キャッチフレーズ】

「地域・社会に対して、養護の理解、新たな価値提供、  
地域社会との信頼関係の構築をめざします」

#### 【施設概要】

- ・施設名：養護老人ホームするが荘
- ・施設長名：大塚渉爾
- ・運営法人：社会福祉法人美芳会
- ・理念：『地域でのこころ豊かな生活のために』『想いに副う』
- ・開所日：平成28年3月28日
- ・所在地：富士市原田2030-32
- ・提供サービス：養護老人ホーム／特定入居者生活介護
- ・定員数：90名



※詳細版はこちらから ⇒



### 特別養護老人ホーム **羽鳥の森**

#### 【一言キャッチフレーズ】

「明るく、前向きに。地域福祉の頼れる相談役になりたい。  
羽鳥の森は皆様の味方です。」

#### 【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホーム羽鳥の森
- ・施設長名：前田万正
- ・運営法人：社会福祉法人珀寿会
- ・理念：『感謝の心で尽くすこと、毎日を明るくすること』
- ・開所日：平成23年10月11日
- ・所在地：静岡市葵区羽鳥七丁目6番28号
- ・提供サービス：特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、  
通所介護、居宅介護支援
- ・定員数：特養110名、短期入所10名、通所介護30名



※詳細版はこちらから ⇒



### 特別養護老人ホーム **浜松中央長上苑**

#### 【一言キャッチフレーズ】

「お一人おひとりのその方らしい暮らしと  
その方らしい喜びを大切に」

#### 【施設概要】

- ・施設名：浜松中央長上苑
- ・施設長名：増田公基
- ・運営法人：社会福祉法人七恵会
- ・理念：『私たちは、一人ひとりの人権を尊重し、その幸せを追求するため、  
七恵会職員として「無財の七施」の精神で努めます。』
- ・開所日：平成26年4月1日
- ・所在地：浜松市中区中島二丁目7番1号
- ・提供サービス：介護老人福祉施設；定員120名 短期入所生活介護；定員20名  
通所介護；定員50名 訪問看護 居宅介護支援



※詳細版はこちらから ⇒



元吉原デイサービスセンター **はまかぜ**

法人名 社会福祉法人 美芳会  
 開設日 平成11年4月1日（入会申込 令和4年6月1日）  
 施設長 鈴木 克代  
 所在地 富士市大野新田744-12  
 利用定員 35人



## 令和4年度老施協活動報告（令和4年4月1日～令和4年6月30日）

## 【老施協・会務運営】

- ★4月5日、4月21日 相談役・正副会長会議  
会運営方針の協議等
- ★5月12日 監事監査
- ★5月12日 第1回理事会  
理事の補欠の選任、令和3年度事業報告案、一般会計収支決算案、委員会委員の補欠の選任
- ★5月27日 第1回総会  
理事の補欠の選任、令和3年度事業報告案及び一般会計収支決算案等
- ※新型コロナウィルス感染症対策  
4月21日 第1回感染症対策検討会議

## 【企画経営委員会】

- ★4月14日 第1回委員会  
令和4年度活動計画、役割分担、アンケートの実施等

## 【広報委員会】

- ★4月27日 第1回委員会  
『しず老施協』第64号の企画、老施協ホームページ

## 【研修委員会】

- ★4月25日 第1回委員会  
令和3年度活動実績、令和4年度活動計画（施設長研修、接遇マナー研修等）
- ★5月27日 施設長研修会の開催
- ★6月29日 第2回委員会  
接遇マナー研修、人材育成研修の計画

## 【21世紀委員会】

- ★4月18日 第1回委員会  
令和3年度活動実績、令和4年度活動計画等
- ★5月20日 第2回委員会  
学生セミナー等の活動計画、介護の日キャンペーンポスター等

## 【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★5月9日 第1回委員会  
発表申込状況、WEBページの構成、テーマごとの発表題数、審査方法、今後の役割分担

## 【養護委員会】

- ★4月20日 第1回委員会  
令和3年度活動実績、令和4年度活動計画
- ★6月6日 第1回総会  
令和3年度活動実績、令和4年度活動計画、県への要望等

## 【特養委員会】

- ★4月26日 第1回委員会  
令和3年度活動実績、令和4年度活動計画等
- ★6月28日 第2回委員会  
令和3年度加算取得調査結果（2回目）、令和4年度待機・入所状況調査等

## 【地域ケア委員会】

- ★4月28日 第1回委員会  
令和3年度活動実績、令和4年度活動計画

## 編集後記

私の施設では、毎年夏に「小中学生の体験学習」というものを行っています。コロナ禍前は、多くの小中学生が来園し、デイサービスや特養のお年寄りと交流をしていました。この体験をきっかけに福祉の道へ入っていくお子さんもいます。今から8年前、当時中学2年生だったAさんもその一人です。「将来は、福祉をやりたいです。この施設に就職します」と、高校生になってもボランティアで来園してくれていました。大学も福祉系に進学したのですが、東京に行ってしまう

たので、就職は半信半疑だったのですが、この春卒業後に言葉通り当施設に入職しました。初対面の中学生だった時の印象が強く、その子が車で通勤し、てきぱきとお年寄りへの支援をする姿を見ると、不思議に思うと同時に非常に感慨深いです。その一方、我が身を振り返ると、何の成長もなく、ただただ年を取ってしまったと嘆息する今日この頃です。まだコロナの影響はありますが、今年は小中学生の体験学習が再開でき、新しい出会いがあればと思います。（荻 将宗）